

## 掛布まち子議員の反対討論

議案第 93 号 江南市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について 議案第 94 号 江南市特別職に属する職員の給与等に関する条例の一部改正について 議案第 95 号 江南市教育長の給与その他の勤務条件等に関する条例の一部改正についてと関連予算が計上されている議案第 97 号 令和 5 年度江南市一般会計補正予算第 7 号について、日本共産党江南市議員団を代表して反対の立場で討論を行います。

議員、市長、副市長、教育長の期末手当の引き上げ理由は、社会一般の情勢を考慮してとありますが、際限なく続く物価の高騰、社会保障のあいつぐ削減、深刻化する格差拡大の中で、少ない年金の低所得の高齢者や非正規ワーカー、ひとり親世帯、中小零細業者などから暮らしの悲鳴が上がり、ひときわ寒さが身に染みる歳末を迎えています。

江南市は、これらの方々を誰一人取り残さない、温かな市政運営となっているのでしょうか。2 か所の高齢者のお風呂の同時廃止と、実効性に欠ける代替策、市営無料駐輪場の廃止案の提案、水道・下水道料金の連続値上げや国保税の引き上げなどなど、生活が厳しい市民を一層追い詰める市政になっているのではないのでしょうか。

会計年度任用職員の人勧にもとづく報酬アップひとつとっても、物価高騰下、もっとも引き上げが必要な低賃金の職員にもかかわらず、また、国が財源措置まで示し、わざわざ、遡及適用すべしと通知を出しているにもかかわらず、江南市は今年 4 月に遡って報酬をアップさせない冷たい方針です。大切な会計年度任用職員をもっといたわることができないのでしょうか。

その一方で、特別職の期末手当を自ら引き上げようというのは、あまりにも市民一人ひとりの暮らし向きへの配慮に欠けているではありませんか。よって、これらの条例改正案と関連する補正予算に反対をいたします。

請願第 3 号 布袋ふれあい会館のお風呂の存続を求める請願書を採択するべしとの立場から討論を行います。

老人福祉センターのお風呂の廃止と同時に、建替えるわけではない布袋ふれあい会館のお風呂まで、3 月末で閉鎖しようとしています。あまりにも理不尽です。高齢者の憩いの場である、お風呂が市内から同時にすべて無くなってしまいます。すいとぴあ江南がありますが、

高齢者福祉を目的とするお風呂ではなく、今後の存続が保障されているわけでもありません。近隣で、高齢者のお風呂が一つもない自治体はどこにもありません。無料や低料金のお風呂を、どこでも大切に維持しています。

お風呂を安く利用できることで、健康を保持し、経済的にも助かり、他の高齢者とふれあい、安心して過ごすことができます。これらの方々にとって、お風呂の閉鎖は暮らしが一変する一大事です。家にお風呂がない人や、家のお風呂が壊れてしまい、年齢的に多額の改修費用を工面することができず、ふれあい会館のお風呂に通っておられる方もおられます。

また、一人暮らしの方にとってお風呂は事故が怖い場所です。公共の場での入浴は、人の目があり安心だとの声が、請願の意見陳述でもありました。

利用者が減っている、一部の特定の人が利用しているだけとか、維持管理経費が高額すぎるなどの意見が述べられましたが、利用者の減少は、コロナ禍と2度にわたる利用料値上げのせいです。

老人福祉センターのお風呂を無くすのなら、ふれあい会館のお風呂は2か所分の重要な意味があります。2か所分の維持管理経費と考えれば決して高額ではありません。傷んできているのなら、改修して存続させれば良いだけです。

請願審議後の総務委員協議会で、代替策の説明がありましたが、すいとぴあ江南のお風呂を60歳以上、130円で利用できる1年間の入浴券補助だけです。布袋からすいとぴあ江南まで名鉄バスに乗ると、片道440円～500円もかかります。バス代の補助がなければ、車に乗れない現利用者のうち約4割の方々は、経済的に行くことができません。これではこまり果てる高齢者を本当に救うことはできません。

弥富市は、市総合福祉センターの改修工事で、お風呂を一時的に使えなくなる期間、市内の他2施設のお風呂まで行ける無料のコミュニティバス券を60歳～74歳の方に配っているという新聞報道を見ました。75歳以上の方はもともとコミュニティバスが無料なので、バス券は必要ありません。ついでに申し上げますと、弥富市は高齢者60歳以上のお風呂は3か所ともに無料とのことです。

こうあってこそ、誰一人取り残さない温かな市政と言えるのではないのでしょうか。

実効性のある代替策とするために、すいとぴあ江南までのバス代補助もしっかり合わせて行うとか、布袋地区から近い四季の湯や、古知野地区から近い天賦の湯を、130円で利用できるような補助を提供するべきではないのでしょうか。

実効性のない期間限定の代替策でお風呂を廃止してしまえば、行き場を無くし困り果てる高齢者が必ず生まれます。財政優先で弱い立場の高齢者を悲しませるようなことがあってはなりません。ふれあい会館のお風呂は存続させるべきと、強く訴えて、請願採択の立場での討論を終わります。